

～第10回(平成22年度)学生生活実態調査報告書から検証～

兵教生の課外活動

学部生の8割が
クラブに加入

課外活動団体(クラブ)に加入して活動している学部生は79%と高い値を示し、その内訳は体育系69%、文化系22%、両方が8%であった。

1週間の活動日数は「3日」と「4日」を合わせると63%に上り、総時間数は「5～10時間」28%、「10～15時間」22%ということから、熱心に取り組んでいることがうかがえる。加入動機・理由は「友人がほしい」(15%)を筆頭に、「技術の向上」(13%)、「趣味と一致する」(12%)が続く。

加入しない理由は「入りたい団体がない」(14%)、「拘束されたくない」(13%)、「通学に時間がかかる」(11%)とさまざまだが、最も多かったのが「アルバイトが忙しい」(18%)。学部生の日常生活に課外活動とアルバイトが大きなウエートを占めているのが分かる。

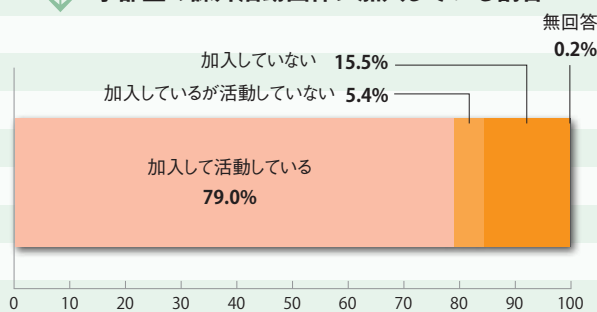
課外活動の
メリット

日本学生支援機構による平成22(2010)年度の「大学、短期大学、高等専門学校における学生支援の取組状況に関する調査」では、文化系サークルの加入率が25.4%、体育系サークルが29.0%となっています。この結果と比較すると、兵教大は体育系サークルの加入率がかなり高いようです。クラブのジャージを誇らしげに着用して授業を受けている学生が目立つのも納得できますね。加入理由で「友人がほしい」がトップになっているように、課外活動の魅力は人間関係を広げ深めることにあります。ネット上でコミュニケーションを楽しむことが増えている現在では、先輩や後輩たちと顔を合わせてリアルに活動する経験は、特に重要になってきていると思います。

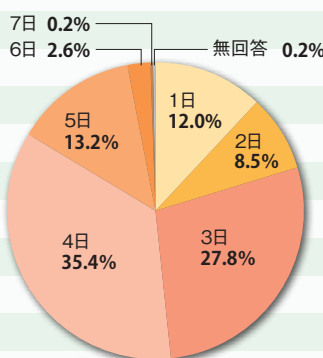


はつ だたかし
初田隆
学生会副委員長

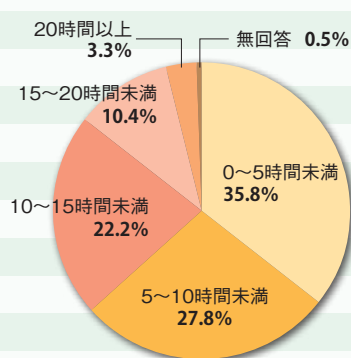
学部生の課外活動団体に加入している割合



1週間の活動日数



1週間の活動総時間



交友が
広がる

文化会の大きな役割の一つに、新生が入学した時のクラブ紹介の運営があります。兵教大はクラブ活動が盛んで、複数の部を掛け持ちする学生も少なくありません。いろいろなクラブに入ればたくさんの人と交流ができます。私自身、運動部と文化部の2つに所属していますが、それぞれに良さがあり、肥やしになっています。今後の文化会の方針としては、生涯教育センターや他大学などとの連携を深め、活動の範囲を広げていきたいです。



た むらまこと
田村誠さん
文化会会長(文芸部、硬式テニス部)
学校教育学部言語系コース3年

学業と
両立!

女子ハンドボール部は春と秋の関西リーグ戦、夏の近畿地区国立大学体育大会に出場しています。昨秋のリーグ戦では2部残留という目標を達成することができました。今年の春リーグは秋の反省を生かし、みんなで戦っていきたいと思います。毎年、お花見や夏合宿、忘年会など楽しいイベントがあり、先輩・後輩を問わずみんな仲良しです。この春の新生のみなさん、自分に合ったクラブを見つけ、学業と両立して充実した大学生活を送りましょう。

●1週間の活動日数・総時間
…3日(火曜、木曜、金曜)・5時間30分



ぜんの ゆみ
善野由実さん
体育会副会長(女子ハンドボール部)
学校教育学部生活・健康系コース3年